

2021年6月 定例議会 議会報告

2021年
8月発行

- ・新型コロナウイルス
ワクチン予約・接種について
- ・子どもの貧困について
- ・子ども食堂について
- ・GIGAスクール構想について
- ・自治体DX制度について

佐倉市議会議員

齊藤ひろゆき 通信 VOL.5

新型コロナウイルス ワクチン予約について

問：ワクチン接種予約について、今回の初回予約時5月9日の混乱を踏まえて、さらなる改善点を行い予約への対応を行っていると思いますが、今後の改善点があればお聞かせください。

答：5月21日の2回目の予約時には受付時間を年齢で区切る方法を取らせていただき、「こころほう佐倉」臨時号や防災無線、メール、ラインなどで市民の皆さんへ広く周知いたしました。

まだ接種を希望しているのに予約が取れない方に対しましては、オール佐倉ワクチン接種予約応援プロジェクトを立ち上げ、市職員が市役所、健康管理センター、出張所、公民館などの市内公共施設において予約のお手伝いを行っております。今後も接種を希望する方が全員接種できるように、全職員で力を合わせて取り組んでまいるとともに、地域の皆さんのお力をお借りして予約の支援を行ってまいります。
問：ワクチン接種方法が新たにどんどん追加され、職域で

は接種クーポン券は必要ありませんが、自衛隊などが行う大規模接種センターなどでは接種クーポン券がないと予約ができないような状況であります。その辺りも考慮して状況を見ながら前倒しで、すべての対象者へ接種クーポンの送付が必要だと考えますが、佐倉市の見解をお聞かせください。

答：職域でのワクチン接種の申請が6月8日に開始されましたが、現時点では基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者の方を優先した後は、年代別にクーポン券を順次発送することで混乱が生じないようご案内してまいります。なお、国や県の大規模接種会場で接種を希望される場合にはご連絡をいただきまして、接種クーポン券を発行し対応してまいります。

要：この新型コロナウイルスワクチン接種予約に関しては、好事例を確認しながら、より混乱の少ない予約方法に改善していただき、ぜひとも接種予約対象者と行政、双方の負担軽減が図られるように取り組んでいただけるよう要望いたします。

新型コロナウイルス ワクチン接種について

問：65歳以上の高齢者を7月未までに接種完了とするためには、どのような改善や協力体制が必要であると考えていらっしゃるのか。また、現在はどのような対応をされているのか、お聞かせください。

答：現在は高齢者の接種完了を7月末に前倒しするために、他の所属職員の協力を得まして、個別に電話連絡を行い予約日の前倒しの調整を行っているところでございます。

問：連絡が取れるまでサポートいただけるのか、その辺について状況あればお聞かせください。

答：電話の対応につきましては、一度で電話が繋がらなかったという事で諦めてはおりません。何度かお電話させていただけます。

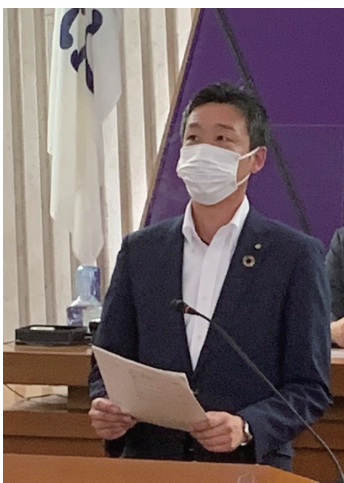
留守番電話が入っている場合については、こちらの電話番号を伝えまして折り返しお電話をいただいております。

要：不特定多数が往来する公共施設の職員や児童生徒が集まる教育施設、保育施設の教員等へ効果的にワクチンを活用するようなシステムも今後必要になってくると考えます。できるだけ早めに効果的なワクチンの接種の実施に繋がっていただきたい。

自治体DX制度

問：自治体の行政手続きオンライン化にはマイナンバーカードの普及が不可欠であります。市民の申請促進や交付体制の充実についてどうお考えをお聞かせください。

答：マイナンバー制度は利便性の向上とDXの基盤になると認識しています。市民周知に努め、また、平日の夜間や休日でも交付できる体制としています。



議場にて会派代表質問

子どもの貧困について

問：佐倉市でも子供の貧困について現状を把握し、どのような支援が必要なのか、対策を講じていることと思います。そこで佐倉市では実態等の調査研究を行っているのか、また子供の貧困に関する支援策はどのようなものがあるのかを併せてお聞かせください。

答：子供の貧困に関する実態調査につきましては、国や県などの動向を注視する中、調査内容などの把握に努めておりますが、現在までのところ市においての独自調査は実施しておりません。次に、現在実施している子供の貧困に関する主な支援策につきましては、生活困窮者の自立支援事業としての学習・生活支援、要保護・準要保護世帯に対する就学援助、高等学校等奨学金事業やひとり親家庭自立支援員による相談をはじめとした、ひとり親家庭等に対する自立支援事業の実施など、関係課と連携して進めているところでございます。

問：『地域子供の未来応援交付金』として、実態調査・計画策定を行う自治体に対して交付金

の準備をしております。まずはこの交付金を活用し、実態の調査を行ってみたいと考えますが、佐倉市の見解をお聞かせください。

答：子供たちの生活状況の実態を把握することにつきましては、子供の貧困問題への対策を進める上で必要な取組であると捉えております。現在県において行われた子供の貧困に関する実態調査の結果が示されておりますので、その内容を参考にしていきたいとともに、市独自の調査について今後検討してまいります。

要：子供の貧困の実態を把握していなければ必要な支援策を講じることができないと思えますので、県の結果を参考にしながら実態の調査研究を行うっていくことを要望いたします。

子ども食堂について

問：子ども食堂の運営趣旨、運営場所などについて、どのような周知を図り、幅広い世代間の交流が可能となるような支援はどのようなものを行ったのか、お聞かせください。

答：子ども食堂の周知につきましては、市で作成、配布してい

る子育て支援ガイドブックやホームページなどでご紹介をし、子ども食堂が子供の食育や居場所づくりの拠点としてだけではなく、高齢者や障害者を含む地域住民の交流の場であることをお伝えしながら、活動団体の所在地や連絡先、開催日時といった情報を掲載しております。

問：子ども食堂とフードバンクについて、改めて西田市長より支援策等について見解をお聞かせください。

答：支援策についてでございますが、子ども食堂につきまして、現在市民協働事業の要件に合致するものについては、財政支援などの対象となっております。今後は市民協働事業の活用のほか、市民活動の主体性を尊重しながら、活動内容の周知や食材の提供意向を持った方と子ども食堂をつなぐといった市民間での支援の輪が広がるよう取組を進め、活動の継続性や充実を図れるよう側面支援に努めてまいります。また、フードバンクにつきましても必要な方向に迅速にお渡しできる、現在の善意銀行の仕組みを生かしながら、より多くの方の賛同や協力

が得られるよう周知、啓発を行ってまいります。

GIGAスクール構想について

問：一人一台のタブレット操作で取り残されてしまう生徒児童については、どのように支援をされているのか、お聞かせください。

答：タブレットを活用した授業につきましては、ほかの授業同様に子供たち一人一人の習得状況を確認しながら進めていくことが重要です。特にタブレット操作の扱い方に差が生じないよう、ICT支援員の協力を得ながら個別の支援を充実させていくことが大切です。加えて子供同士で教え合うことも大事でありますので、情報活用能力の育成につながるものと認識しております。

要：子供の貧困は、貧困にならないための施策も重要です。教育支援のほか、学校で学んだ学力をしっかりと確保していくのが貧困の連鎖を断ち切ることであり、積極的に学力の保障に努めて頂きたい。

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症、並びにワクチン接種情報については、佐倉市のホームページにて随時更新されています。こうほう佐倉などからもご確認ください。

HP:<http://www.city.sakura.lg.jp/>
HPへのQRコード



佐倉市議会議員 斉藤ひろゆき

HP:<https://sakura-saito.com/>

HPへのQRコード

〒285-0850 佐倉市西ユーカーが丘7-5-8
TEL : 080-5698-3110
E-mail : saitohiroyuki1977@gmail.com